

## S.E.N.S 養成カリキュラム シラバス (2018 年度版)

### C. 指 導

#### ◇ 行動面の指導 (6時間 : 2P)

##### 【 概 要 】

教室で子どもが示す行動上のつまずき (授業への参加困難、多動、衝動性、パニック、ルール理解や友人関係の困難など) について、その理解と支援に必要な基礎知識を概説する。行動面のアセスメントについても説明する。

応用行動分析の考え方に基づいた実態把握のための行動観察、行動の変化をとらえるための記録方法、教室場面で役立つ指導技法の原理について、実際の支援事例を挙げながら説明する。また、応用行動分析とも併用可能な他の指導方法についても紹介する。学校における支援体制や学校と家庭の連携、チームアプローチのあり方についても述べる。

##### 【 キーワード 】

応用行動分析、行動観察、環境アセスメント、機能的アセスメント、行動変容の方法、校内支援体制、保護者との連携、チームアプローチ

##### 【 到達目標と評価 】

- ①発達障害にみられる行動上のつまずきの具体像とその原因について述べることができる。
- ②行動についてのアセスメント、観察方法と記録方法について説明することができる。
- ③応用行動分析の基本的な原理と概念について説明することができる。
- ④行動上のつまずきに対処するためのさまざまな指導技法について説明することができる。
- ⑤教室場面における環境の設定や子どもへの接し方について説明できる。
- ⑥学校における支援体制や学校と家庭の連携、チームアプローチのあり方について述べるることができる。